



Title	GLOCOLブックレット18 目次
Author(s)	
Citation	GLOCOLブックレット. 2016, 18
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/55599
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

GLOCOLブックレットの創刊にさいして

「GLOCOLブックレット」は、大阪大学グローバルコラボレーションセンター（以下、GLOCOL）が企画・実施している、教育、研究、実践の3領域にわたる活動の成果を大阪大学内外に知らしめるために創刊されました。2007年4月に開設されたGLOCOLは、大阪外国語大学との統合後の新大阪大学における新たな教育理念を具現化するため、教育プログラムの改革をおこなうことを第一の使命としています。

グローバル化のなかで、現代の世界は、紛争、貧困、文化の衝突、感染症、環境破壊といったさまざまな問題に直面しています。経済的繁栄のなかで、他の国や地域の問題は「他人事」ですましてきた日本という国の住民も、ナショナルな枠組みのなかで安住することはもはや困難になっています。現在の総合大学に課されているのは、こうした世界の状況を適切に理解し、その改善や解決に向けて真の「国際性」(intercultural communicability)をもって主体的に行動することのできる人材を養成することであると考えます。この責務を実現するためには、従来の学部・研究科の枠組みを超えた連携（コラボレーション）が必要です。連携のパートナーには、学外・国外の研究機関、開発援助機関や市民団体も含まれます。GLOCOLの役割は、こうした連携の媒介者兼牽引者となることです。

先端的な教育プログラムの開発は、先端的な研究の裏打ちがあってはじめて可能になるものです。GLOCOLが、「人間の安全保障」と「多文化共生」を二つの柱とする研究の推進に力点を置いているのはそのためです。また、GLOCOLにおける教育研究のプロジェクトは、現代世界の動態と深く関連しているがゆえに、学生と教員の双方は必然的に「現実とのかかわり方」の模索を求められることになります。それゆえに、GLOCOLが教育・研究・実践の「三位一体」をスローガンにしているのです。

「GLOCOLブックレット」は、シンポジウム、ワークショップ、研究プロジェクト、教育プログラムの開発、実践とのかかわりなど、GLOCOLのさまざまな事業を報告するメディアです。皆様のご理解とご支援をお願いするしだいです。

2009年2月

大阪大学グローバルコラボレーションセンター
GLOCOLブックレット編集委員会



GLOCOL ブックレット 18
GLOCOL BOOKLET

大学とグローバル化

大阪大学GLOCOLの9年間の経験から

The University in the Age of Globalization:
Nine Years of Global Collaboration Center, Osaka University



GLOCOL
GLOBAL COLLABORATION CENTER

目次

ブックレット刊行にあたって	平田收正	005
---------------	------	-----

第1章 歴代センター長に聞く — GLOCOLの歩み

1-1 はじめに	島園洋介	010
1-2 教育に実質を与えるのが実践	小泉潤二	011
1-3 成果を見極めて次の展開を	栗本英世	020
1-4 センター長は猛獣使い?	大橋一友	026

第2章 アジアの課題と大学の知

2-1 アジアの課題と大学の知	大野光明	032
2-2 SATREPS「薬剤耐性菌発生機構の解明と 食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」	住村欣範	034
2-3 大学の知を活かした環境保護、環境保護を活かした実践型教育 —— モンゴルでの取り組みを事例に ——	思沁夫	041
2-4 試行錯誤 — バングラデシュの農作業の改善にモノづくりで挑む —	小峯茂嗣	055

第3章 足もとの国際化と大学 — グローバル化時代における社会学連携の成果と課題

3-1 足もとの国際化と大学	島園洋介	070
3-2 基調講演	吉富志津代	072
3-3 対談1 — ハロハロSQUARE(スクエア)における社会学連携 —	橋口裕子×福田州平	086
3-4 対談2 — ミックスルーツ・ジャパンとGLOCOLとの連携 —— 吉富志津代×須本エドワード ——	吉富志津代×須本エドワード	093

第4章 海外体験型教育プログラムのつくりかた

4-1 海外体験型教育プログラムのつくりかた	安藤由香里	106
4-2 海外体験型教育とは	敦賀和外・本庄かおり・安藤由香里・片山 歩	108
4-3 海外フィールドスタディ(FS)の運営 —— 敦賀和外・本庄かおり・安藤由香里・片山 歩 ——	敦賀和外・本庄かおり・安藤由香里・片山 歩	112
4-4 海外渡航時のリスク管理	敦賀和外・本庄かおり・安藤由香里・片山 歩	119
4-5 5年間の教訓	敦賀和外・本庄かおり・安藤由香里・片山 歩	122
4-6 コメンテーター講評	和栗百恵	124
4-7 質疑応答		126

第5章 グローバルに生きる! — はじまりはGLOCOLだった

5-1 グローバルに生きる!	小峯茂嗣	134
5-2 私の国際協力	黒田篤槻	136
5-3 森の精霊が教えてくれたこと — GLOCOLでの経験のその後 —	切川菜央	144
5-4 本当は身近なグローバルライフ	林 若可奈	149
5-5 国際協力キャリアへの挑戦	若林真美	161

GLOCOL教員一覧		168
------------	--	-----